

2023 11/5 Sun

災害伝承“語り継ぎ”探究サロン 第4回

東日本大震災・原子力災害 福島語り部のおはなし

ゲスト：青木 淑子（あおき よしこ）さん
横山和佳奈（よこやま わかな）さん

日時：2023年 11月5日（日） 13:30～15:30

開催方法：会場とオンライン（ZOOM）によるハイブリッド

会場：人と防災未来センター 西館 1F ガイダンスルーム

阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
DRI The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution



東日本大震災・原子力災害伝承館で活動するお二人をお招きします。



人と防災未来センターでは現在、福島県双葉町に所在する「東日本大震災・原子力災害伝承館」からの出張展「東日本大震災と福島の経験を伝える」を開催しています（会期～11月26日（日）まで）。この関連企画として、福島の語り部お二人に実際に神戸にお越しいただき、日頃から「講話」として行っておられる語りを神戸の地にて披露いただくことになりました。この場を共同し、「災害伝承“語り継ぎ”探究サロン」として開催します。

プログラム

第1部 13:30-15:00

福島の語り部お二人のお話し

第2部 15:00-15:30

質疑応答+フリーディスカッション

プロフィール

青木 淑子

（あおき よしこ）さん

原発事故に伴い全町避難を経験した富岡町の県立富岡高校の元校長で、NPO 法人富岡町3・11を語る会代表。被災者支援に取り組んできたほか、震災を「自分事」としてとらえてもらうための語り部活動に尽力している。東日本大震災に伴う複合災害、特に原子力災害で「人のつながり」を奪われたことの重さ、人を救うものは人ではないことを語る。

横山和佳奈

（よこやま わかな）さん

浪江町請戸（うけど）地区出身、東日本大震災・原子力災害伝承館職員。小学校6年で被災し、海の間近にあった家や学校が津波で流された。自身を含め児童全員が無事に避難できた経験を語る一方、最愛の家族を津波で亡くした。原発事故で捜索ができず、ご遺体との対面さえかなわなかった悔しさと悲しみや、「避難の情報が出たらすぐに逃げる」という教訓を伝える。

参加無料 対象：どなたでもご参加いただけます。全国の災害伝承ミュージアムのみならずにもご案内しています。

定員：会場参加は先着20名、オンラインは制限なし

参加方法

特設サイト内ページのフォームからお申し込みください。締め切り 前日 11/4 17:00
会場参加は空きがあれば当日参加できます。

>>> <https://forms.gle/92pY6716ZSvBezeKA> >>>



お申し込みいただいた方に、ZOOMのアドレスを開催日前日にメールでお送りします。

また、Facebookページにもアドレスを掲載します。

何らかの事情でメールが不達の場合は、こちらからご確認ください。

Facebook ページ >>> <https://fb.me/e/6L9L3IPlm> >>>



共催：東日本大震災・原子力災害伝承館 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

お問い合わせ：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 事業部運営課 企画担当 email: event@hitobou.com